

表現・コミュニケーション学科に併設

YMCA総合教育センター

子育てと子どもの発達の悩みに丁寧に寄り添い支援を考えます

TEL.06-6441-0988

<https://www.osk-ymca-intl.ed.jp/hc/counseling/>



幼児～
18歳未満

保護者
教員の方々

カウ
セリング

発達相談

セミナー
巡回相談・
研修

ことば・読み書き・ソーシャルスキルトレーニング(小集団)
サポートクラス

TEL.06-6441-5070

<https://www.osk-ymca-intl.ed.jp/supportclass/>



ジェイビー
J-IVY



TEL.06-6459-1771

https://www.osk-ymca-intl.ed.jp/hc/j_ivy/

学校に通っていない中学生のためのフリースクール

教科学習
SST

週1～4日
選択制

中学校の
出席認定可

不登校の
中学生

仲間づくり

2019年に開校した公設民営の中高一貫校「水都国際中学・高等学校」は大阪YMCAが運営しています。

学校法人大阪YMCA 大阪YMCA国際専門学校 高等課程

表現・コミュニケーション学科

〒550-0001

大阪市西区土佐堀1-5-6(4階)

TEL 06-6441-1123

FAX 06-6443-7544

<https://www.osk-ymca-intl.ed.jp/hc/>



- ・大阪メトロ四つ橋線「肥後橋」駅下車3号出口から徒歩約5分
- ・大阪メトロ御堂筋線・京阪線「淀屋橋」駅下車4号出口から徒歩約10分
- ・JR東西線北新地・「新福島」駅下車徒歩約15分
- ・JR環状線・阪神「福島」駅下車徒歩約15分
- ・JR「大阪」駅下車徒歩約20分
- ・「大阪駅前」より市バス75系統なんば行、88系統天保山行「土佐堀1丁目」下車すぐ
- ・京阪中之島線「中之島」駅下車6番出口から徒歩約9分
- ・京阪中之島線「渡辺橋」駅下車7番出口から徒歩約7分



大阪YMCA国際専門学校 高等課程

表現・コミュニケーション学科(全日制)

多様な不登校経験のある人を対象に、経験を通してコミュニケーションスキルを学ぶ学校



安心できる環境と関係性で、人は変わる。

表コミ

生きてよかった

生徒一人ひとりに今まで歩んできたstoryがあります。

私たちがすべての生徒に伝えたいことは「出会ってくれてありがとう」ということです。

さまざまな経験から「自分なんか…」 「自分には…」 「どうせ自分は…」 と自分を否定したり、
自分の可能性をあきらめたり。

中には、登校するエネルギーがほとんど無い状態で表コミに入学する生徒もいます。

学校に行かない選択をし、自分の心と命を守ってきたあなた。

勉強が分からなくても、自分の方法でゆっくり学び続けてきたあなた。

自分のペースで周りとの関係性を築いてきたあなた。

さまざまな経験を持つあなたたちが、表コミに出会い、期待や不安を胸に勇気を持って一歩
ふみだし、共に歩んでいます。

この出会いこそがはじまりで、この勇気こそがあなたたちの無限に広がる可能性の芽なのです。

生き方に決まりがないように、学び方・人間関係・成長にも決まりがありません。

表コミは学校でありながら、学校らしくない学校です。

生徒一人ひとりが主人公になれるよう、あなたたちの光るものは何かを一緒に探していきます。
安んずける環境と関係性の中でエネルギーを溜め、自分の光るものを見つけたあなたは、
自分の存在を認め、自分の存在価値に気づき、夢を語りだします。

最初の言葉「生きてよかった」は今まで多くの卒業生が残してくれた言葉です。

まずは表コミに出会ってみませんか？



わたしのstory

表コミで学校生活を送りながらさまざまな変化・成長をしている生徒たち。自分と相手を大切にする中で多くのことを学び経験した、それぞれの「わたし」のstoryを紹介します。

iPadを通して見つけた

「自分らしさ」

文字を書くことが苦手で勉強が楽しくありませんでした。気づけば自分の気持ちを出すことも人と関わることも苦手に。表コミではiPadを活用して学校生活を送り、勉強は楽しく、また自信をもって気持ちを表現できるようになりました。



ここなら変われるかもと

思えたから

外に出ることさえ苦痛に感じていた中学時代。表コミに出会って、ここなら頑張れるかと思えました。入学して変わったのは「チャレンジしよう」と思えるようになったことです。表コミには失敗しても大丈夫という雰囲気があるから、一歩踏み出せるようになりました。



「苦手」が「楽しい」に

変わった瞬間

勉強もコミュニケーションも苦手だった私。母から表コミのことを聞き、入学しました。少ない人数で受けられる授業と、気の合う友達や先生の支えで、苦手だったものも楽しいと思えるようになりました。これからも毎日を大切に表コミで過ごしていきたいです！



表コミで生徒を支える4つの柱

POINT
1

生徒の安心
P05

POINT
2

人とかかわり
P07

POINT
3

学びの拡がり
P09

POINT
4

自立への歩み
P11

表コミで育むこと：コミュニケーション力・学習習慣・自己肯定感・生活力

「人と話せない自分」から

「人前で堂々と話せる自分」へ

周りの人との会話が苦手だったから、表コミへの入学を決意しました。入学後はペアワークやグループワークで話す練習ができ、少しずつ自信がつき人前でも話せるようになりました。今後はより堂々と話せるようになりたいです。



自分のペースで

つかんだ自信！

コミュニケーションを苦手感じていたせいで、人と関わるチャンス逃してしまっていた自分。表コミに入学して自分のペースで過ごし、自分に自信が持てるようになりました。これからは自分だけでなく周りも大切にできるようになりたいです！

POINT 1 生徒の安心

安心できる環境と
関係性で人は変わる



いじめ・中傷はゆるしません

いじめがどこからなのか線引きをすることは難しいですが、表コミでは、「相手・自分が嫌だと感じたら、それはいじめの始まり」という考えのもと、解決方法を大人と一緒に考えていきます。

フリールーム（休憩部屋）がある安心の環境

フリールームは、生徒が学校で安心して過ごすための休憩部屋です。疲れている時や授業中にしんどくなってしまった時だけでなく、相談事がある時やリラックスしたい時にも利用できます。

自信を取り戻せるスリーインワン・コンセプツ[®]

スリーインワン・コンセプツ[®]とは、脳神経学を応用したストレス軽減のプログラムです。在籍中、希望制で専門家による個人セッションを受けることができます。



生徒の声

声掛けが安心感に繋がりました！



慣れない環境でみんなについていくことに必死だった時、先生や先輩が優しく声をかけてくれました。次は後輩たちが安心して過ごせるよう自分も声をかけてあげたいです。

相談しながら前に進める環境です！



自分のことや周囲との関係で悩んだとき、先生に相談しながら解決方法を探しています。これからも自分の言動を考えながら、人との向き合い方を学んでいきたいです。

安心して学校生活を送るためのサポート体制



生徒支援のプロが常駐

カウンセラー・臨床心理士・公認心理師・養護教諭・特別支援教育士・特別支援教育士スーパーバイザー・言語聴覚士が常駐しており、いつでも相談できます。全校生徒120～150名に対し、これらの専門家が常駐している学校はほとんどありません。さまざまな視点から生徒の成長を見据え、適切な支援を行います。

複数担任制・学校全体で生徒を支援

各学年2名以上の担任で学校生活を支えています。毎朝のミーティングや外部アドバイザーを交えた生徒支援会議を通して、常に生徒情報を共有しているため、どのスタッフも生徒全員のことを把握・理解しています。担任に限らず、自分に合った大人を見つけ相談できる環境が表コミでは整っています。

保護者との連携

各学年の方針や生徒の様子をお伝えする保護者会（年2回）、保護者面談（年2回）に加え、学年の垣根を超えて保護者同士が繋がる保護者交流会（年4回・希望制）を実施しています。学校・保護者間で連携を取りながら、お子様の成長とともに支えます。

ボランティアが支える授業・学校生活

授業中、ボランティアが教室に入り、学習をサポートします。先生に声を掛ける勇気が出ない時、サポートをしてもらうことで、授業に対する困り感や緊張を軽減します。大学生から社会人まで幅広い年齢層の大人と出会い、多様な価値観に触れながら、安心して学校生活を送ることができます。

POINT 2 人とかかわり

人とかかわり
自分のペースで
コミュニケーションを学ぶ



自分を認め、他者を認める仲間づくり

- 1 自分の気持ちを表現する
- 2 相手の気持ちを受けとる
- 3 自分と相手を大切にすること



クラスという集団の中で相互に関わり合い、認め合うことによって生徒は自信を持ち、大きく飛躍していきます。表コミでは授業や学校行事を通じ、集団の中でコミュニケーションの練習を行います。その中で「向き合う」「伝え合う」ことを重点的に学び、仲間づくりに力を入れています。仲間づくりを行う過程でトラブルが起こることもありますが、表コミではそれを成長のチャンスと捉えています。表コミでの経験はすべてが「練習」。社会に出るためのステップとしてともに乗り越えていくことで、信頼関係を築くことができます。

コミュニケーションを学ぶ授業・学校行事

- 1 グループワーク
- 2 仲間（関係）づくり
- 3 自分のできるところから



表コミでは全ての授業・学校行事で話し合いを行う環境を設定しています。週に2時間のコミュニケーションに特化した授業や社会性を身につけるSSTの授業、体験学習型の授業などを実施しています。また、段階的に関わり方を身に付けられるような仕組みを敷いています。入学前には、新入生と教員でオリエンテーションを行います。新学期スタート前に簡単なゲームを通し、お互いを知ることによって安心して学校生活を始めるためです。このようなメソッドの中で、自分の気持ちを相手に伝えたり、相手の気持ちを受け取る経験をし、コミュニケーションスキルを培っていきます。

"自分"らしく"人"とつながる方法を学ぶ体験学習

コミュニケーション



人間関係トレーニング・コミュニケーション

自己表現の方法や対人関係の築き方を段階的に学びます。



演劇

プロの劇団員指導のもと、クラスで演劇公演を作ります。



ソーシャルスキルトレーニング(SST)

少人数で実生活に必要な社会性・対人スキルを身につけます。

いのちのプログラム



総合的な探究の時間

卒業後を見据え、クラスや社会について考える時間を持ちます。



ロングホームルーム(LHR)

日常や行事について、クラス・自分ごととして話し合います。



性教育(外部機関との連携)

生命のキセキに触れ、「自分と相手を大切にすること」方法を学び合います。

学校行事



宿泊(キャンプ)

日常と違う環境を通して協働体験の達成感を味わいます。



表コミ DAY

3学年を縦割りに分けた班で、レクリエーションゲームを行います。



とさぼりカーニバル(文化祭)

自分たちで考えた模擬店を出店、接客や販売を一から経験します。

POINT 3 学びの広がり

「分かった」と感じた時こそが、
自主的な学びの始まり



自分に合うペースで学ぶ少人数制・習熟度別クラス

学年全体で行う授業と習熟度別の授業があります。習熟度別クラスでは、少人数（10～20名）で学習のペース・レベルに合わせた授業が受けられます。個別授業ではなく、共通の目標を持つ生徒が同じクラスで学び、生徒同士の支え合い・教え合いの中で授業を進めていきます。



英語・国語

英語では少人数・習熟度別クラスで中学校の内容から復習します。国語では読解力はもちろん、文章によって自分の意思や思いを表現する力を磨きます。



情報

PCの基本操作からプレゼンテーション資料作成などの応用まで学びます。



数学

らくだメソッド「らくだ教材」を使用した学習です。※個人のペースですすすめられます。



専門科目（選択）

週4時間、自分の興味・関心を広げる授業を選択できます。



1日のスケジュール・時間割例

週25時間、平均して1日5時間授業です。

		月	火	水	木	金
9:00	1					産業社会と人間
10:00	2		言語文化	情報の表現と管理	英語コミュニケーションⅠ	人間関係トレーニング（コミュニケーション）
11:00	3	美術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	SST	数学Ⅰ	
11:50		昼休み				
12:50	4	国語演習	体育	選択芸術 日本文化を知ろう	ライフスキル（生活力）	国語演習
13:50	5	英語コミュニケーションⅠ	国語演習	世界の音楽 漢字検定	宗教	選択情報 英会話
14:50	6	LHR	総合的な探究の時間	公共	情報の表現と管理	ヨガ入門 国語表現力
15:50		SHR				
		放課後				

※国語・英語・情報は、習熟度別クラスです。また青色□は、専門科目（選択）から選べます。※昼休みは、体育館やパソコンルームを使用できます。

TOPIC 01

10時スタートの日を多く
設けており、通勤ラッシュ
を避けることができます。



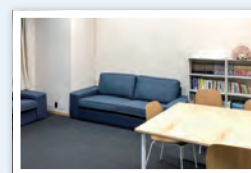
TOPIC 02

職員室での挨拶から1日
がスタート。この時に生徒
の様子を確認しています。



TOPIC 03

保健室やフリールームな
ど、自分が一番落ち着く
場所で休憩できます。



TOPIC 04

放課後はクラブ活動や
ゲーム、お喋りなど自分
に合った過ごし方ができ
ます。



iPadを使用した学習

表コミでは「卒業後に必要な力」を身に付けることを大切にしています。iPadを文房具として活用し、苦手意識を緩和することで学習の幅を広げ、「学びたい」という意欲を育みます。そして、進学や就職で役立つ「自分に合った学び方」や「生活や仕事を円滑にするスキル」の習得を目指します。

01

生活を豊かにする
ものとして活用



02

セルフコントロール
する力を習得



03

自分に合った
学び方を見つける



教育課程（2024年度 入学生より）

普通科目（必修）												
教科	国語	歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭	情報	宗教	総合
科目	現代の国語／言語文化 論理国語 国語演習	歴史総合・地理総合	公共	数学Ⅰ	科学と人間生活 生物基礎	体育	美術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語表現Ⅰ	家庭基礎	情報Ⅰ 情報演習	宗教	福祉実習基礎 産業社会と人間

専門科目（必修）									
情報	選択芸術	選択情報	国語表現力	漢字検定	手話入門	世界の音楽	多読・リスニング	英会話	英語表現Ⅱ
課題研究 情報の表現と管理 情報産業と社会	選択芸術	選択情報	国語表現力	漢字検定	手話入門	世界の音楽	多読・リスニング	英会話	英語表現Ⅱ

専門科目（選択）									
情報	選択芸術	選択情報	国語表現力	漢字検定	手話入門	世界の音楽	多読・リスニング	英会話	英語表現Ⅱ
課題研究 情報の表現と管理 情報産業と社会	選択芸術	選択情報	国語表現力	漢字検定	手話入門	世界の音楽	多読・リスニング	英会話	英語表現Ⅱ

POINT 4 自立への歩み

自分に自信を持つことが
自立のスタート



一人ひとりにあった進路選択

一人ひとりの学習状況・心の状態を把握した教職員が、進路面談を実施しています。

知る・きく

- ゲストティーチャーによる授業
- 働くことについてのオリエンテーション
- 卒業生の体験談
- 進路別選択授業
- 自分の得意・不得意を分析・深掘り

体験する・みる

- 学習方法・学習習慣の獲得
- 気になる職業人にインタビュー
- 夏休みのオープンキャンパス体験

専門学校・大学・短期大学の場合

- 志望校・学習計画の個別相談
- 進学自習ルームの利用
- 学研・進研模試の利用
- 出願に向けての個別対策・面接指導

職業訓練校・就労移行支援・就職の場合

- 職業訓練校の見学・体験
- 就労移行支援の見学・体験
- 職業体験
- 受験・面接対策



卒業までの流れ

1年生

調査の年

自分自身のことをよく知り、どのよ
うな進路・職業があるかを知る

2年生

行動の年

学習習慣やソーシャルスキルを
身につけ、実際に見に行く

3年生

決定の年

進路を具体的に決め、実現に向け
て取り組む

卒業生・保護者からのメッセージ

自分と仲間の成長を感じられた3年間

中学1年生の夏休みから不登校になり、声も小さく下を向いて歩いていました。表コミは学校行事や授業の中で誰かと話す機会が多く「自分って意外と話せるんだな」と新たな一面に気付くことができました。就職先でも、自分から積極的に周りに関わることができています。表コミは仲間に刺激されて仲間と一緒に成長できる学校です。

保護者 生きていく上で必要な力が身につく学校

クラスで揉め事が起こったとき、犯人探しをするのではなく、「クラスの問題」として捉え、みんなで意見を出し合い、何が問題だったのかをとことん考えていました。意見を出し合うことで、みんなのコミュニケーション能力と課題解決力が育まれたと実感しています。切磋琢磨し合える同級生と一人ひとりの気持ちを感じ取り向き合ってくれる先生方のおかげで充実した3年間を過ごせました。



11期生(2017年度卒業)
野田 健吾さん 社製薬専門学校 卒業/外資系ホテル勤務
保護者
野田 千草さん

人と関わるのが苦手だった僕が…

僕は人と関わるのが苦手でした。でも、表コミの仲間と出会って、人と関わることを「楽しい」と思えるようになりました。僕が、表コミで得たものは沢山あります。人と話せるようになったこと。自分に自信が持てるようになったこと。でも、何より大きいのは、大切な仲間に出会えたことです。卒業した今も、僕は周りの人との出会いを大切にしながら毎日を送っています。

※本パンフレット表紙作成。表コミで過ごした3年間を詰め込みました。



16期生(2022年度卒業)
難波 庚太郎さん 成安造形大学 進学

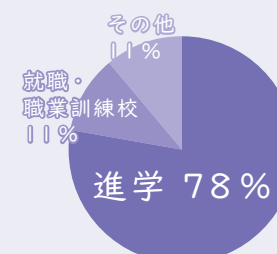
表コミの授業や友達、先生に出会えて良かった

勉強はずっとやる意味がないと思っていたし、やる気もなかったけれど、表コミの先生は「なんでできないの?」と言わなかったの、自分から進んでやりたいと思えました。「先生=壁」というイメージだったけれど、生徒とここまで打ち解けられて凄いと思い、イメージが変わりました。表コミ生活は楽しい事ばかりではなく苦勞もありましたが、「いろいろな人がいて、私は私でいいんだ」「マイペースに歩いても大丈夫なんだ」ということに気づけました。表コミがあって良かった。強くそう思います。



10期生(2016年度卒業)
岩坂 礼さん 聖和短期大学 保育科 卒業

卒業後の進路



大阪経済大学/大阪芸術大学/大阪国際大学/大阪産業大学/大阪大谷大学/追手門学院大学/大手前大学/関西外国語大学/関西学院大学/京都外国語大学/京都産業大学/京都精華大学/京都芸術大学/近畿大学/神戸女学院大学/甲南女子大学/摂南大学/相愛大学/佛教大学/奈良大学/桃山学院教育大学/武庫川女子大学/龍谷大学/ 他(2007~2022年度実績より抜粋)

その他としては、受験準備、就労支援センターなどがあります。

表コミって？

表現・コミュニケーション学科(表コミ)は、コミュニケーション・登校・学習に不安を感じ、過去の経験から自分に自信を無くした生徒が多く在籍しています。表コミは「生徒＝主人公」と捉え、安心できる環境・関係性の中で、生徒の可能性を共に見つけていく学校です。「4つの柱」で、生徒と関わる全ての大人で支え、生徒一人ひとりが主人公になれるものは何かを探します。

表コミの教育理念

キリスト教主義の教育を基盤として、精神、知性、身体、社会性の均整のとれた成長を育みます。

表コミの教育方針

1. 神様から与えられたすべての命を大切にする
2. すこやかな心とからだを育む
3. 違いを認め合って共に生きる
4. 豊かな学びと生きる力を培う
5. 未来に向けての歩みを確かなものにする

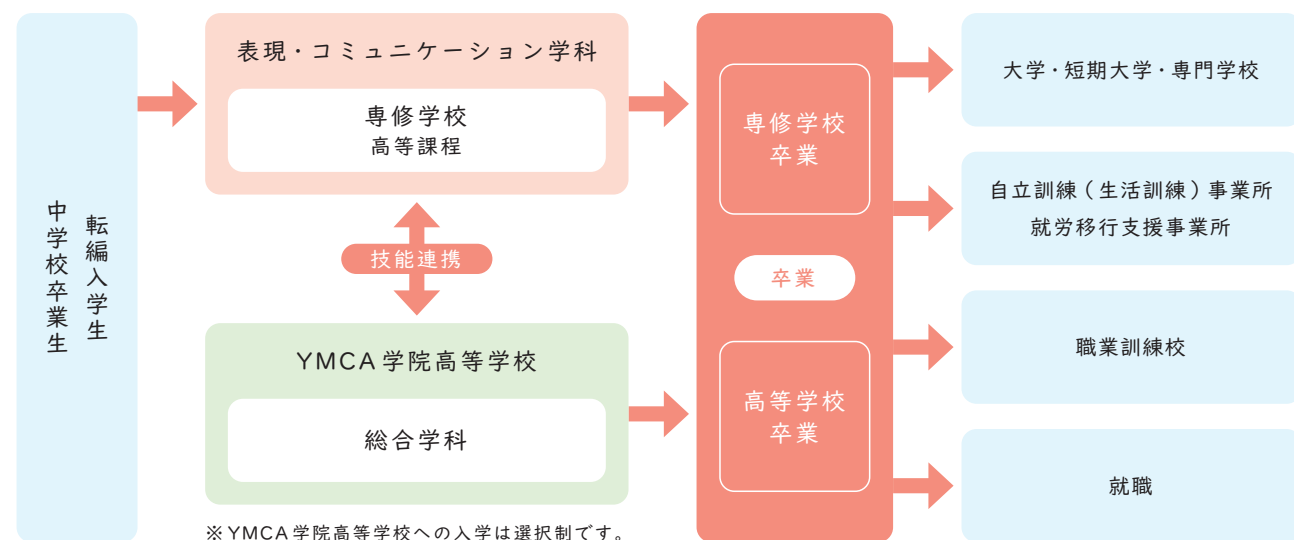


YMCAは、1844年、ロンドンで誕生しました。YMCAの赤三角マークは、心(Spirit)・知性(Mind)・体(Body)の調和を表し、生涯を通して、全人的に成長することを願うものです。YMCAのマークとして、世界中に知られています。青少年はもとより、あらゆる年代、性別、宗派の人々が関わっている120の国と地域に広がる国際団体です。

学科のシステム

技能連携校とは？

通信制高校と連携するシステムです。表コミの生徒は、YMCA学院高等学校に在籍することもできます。その場合、表コミで授業を受けて単位を取得すると、「専修学校卒業」と「高等学校卒業」の資格が同時に取得できます。



YMCA学院高等学校在籍のメリット

YMCA学院高等学校の進路指導データや大学の指定校推薦などの活用ができます。

表コミの授業でYMCA学院高等学校の単位取得

表コミの授業を受けることで、校舎を移動せず、YMCA学院高等学校の単位も取得することができます。

Q&A

よくあるご質問をまとめました。

より詳しく知りたい方はお気軽に表コミまでお問い合わせください。

Q 制服の着用は必須ですか？

A 必須ではありません。標準服がありますが、購入は選択できます。毎日洋服選びに悩んでいた生徒の提案から作られました。



Q オシャレに制限はありますか？

A ありません。表コミでは、自分を自由に表現してほしいと願っています。しかし、クラスメイトから違和感の声があがった時は、自分たちでルールを決めます。

Q YMCAの施設はどのようなものがありますか？

A 本校舎には体育館やホール、チャペルなどがあり、授業や行事で使用しています。また、YMCA阿南国際海洋センターや、六甲山YMCAなどの校外の施設も活用し、行事やキャンプを行っています。



体育館



チャペル



カウンセリングルーム

PCルーム

2階ホール

Q 昼食はお弁当を持参しますか？

A 持参しても、買いにいつでもOKです。

お弁当を持参するか、近くのスーパーやコンビニに買いに行くことができます。学校内で食べます。



Q 毎日通えるか心配です。

A 卒業生や在校生もみんな同じ気持ちで入学しています。今、心配だと思うのは「通いたい」気持ちがあるからです。その気持ちで十分です。表コミではその気持ちを全力でサポートします。まずは一度、見学にお越しください。

Q 卒業後、大学に行けますか？

A 受験資格があります。表コミの卒業資格(専修学校卒業資格)でも大学・専門学校の受験資格はあり、実際に進学している先輩もいます。YMCA学院高等学校の在籍があれば指定校推薦の枠も利用することができます。

Q 部活動やサークルはありますか？

A あります。アートクラブ、演劇部などがあり、経験の有無や学年の垣根を超えて活動をしています。



Q 放課後はどのように過ごしていますか？

A 勉強、お喋り、ゲームなど自由に過ごしています。

家から持ってきたゲーム(カードゲーム・Nintendo Switchなど)を通してコミュニケーションを取っている生徒もいます。全てを禁止するのではなく、1つのコミュニケーションツールとして有効活用しています。